

平成 13 年度臭素系ダイオキシン類調査結果について



環境省は、平成 12 年度に引き続き行った平成 13 年度臭素系ダイオキシン類調査結果についてとりまとめました。

臭素系ダイオキシン類の検出状況を以下に示します。

	大気	降下 ばいじん	土壌	地下水	水質	底質	水生 生物	野生 生物	食事 試料
焼却施設周辺地域									×
一般都市地域		×					×		×
農村地域	×	×	×		×	×	×		×

○ 臭素化ダイオキシン類が検出された

× 検出されなかった

- 測定しなかった

臭素系ダイオキシン類の毒性に関しては、詳細は明らかになっていませんが、塩素化ダイオキシン類と同等の毒性を有するという見解が持たれています。

平成 13 年度の結果では、前年に比べ検出感度を向上させたため、幅広い調査媒体から検出されました。環境省では、継続的に環境中の蓄積状況などを把握するため、調査を行っていくとしています。

資料：環境省報道発表資料 平成 14 年 12 月 24 日付

クロマト研究課 山田 悠貴

事業内容

- 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- 2 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- 3 水道法第 20 条に基づく水質検査
- 4 労働衛生管理に伴う作業環境測定
- 5 製品開発・品質管理に伴う化学分析
- 6 トータルサニテーション管理
- 7 微生物に関する試験・調査
- 8 依託試験・研究・開発

